

2015年4月22日(水)

協和エクシオ、島根県松江市でメガソーラー発電事業を展開 ～中国地方では初となる出力約2,200キロワットの太陽光発電施設の建設に着手～

株式会社協和エクシオ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：小園文典）では、環境事業の一環として、太陽光発電システムの設計から施工、運用システムの構築に至るまでの設備設置工事、さらには再生可能エネルギーの固定価格買取制度による売電を実施する発電事業を展開しておりますが、このたび、中国地方では初となる出力約 2,200kW のメガソーラー発電事業を島根県松江市で展開することとなり、4月21日、工事関係者ならびに当社関係者の出席のもと、現地です工事安全祈願祭が執り行われました。

なお、完成および稼働開始は10月を予定しています。

今回展開するメガソーラー発電事業は、当社が島根県松江市内の用地約2万5,000平方メートルを賃借し、太陽光発電設備の設置および完成後の運営を実施するもので、敷地内に約8,300枚の太陽電池モジュールを設置し、完成後は出力約2,200kW、年間発電量で一般家庭の約420世帯に相当するメガソーラーによる発電事業を実施します。

当社は環境事業の一環として、メガソーラーをはじめとする太陽光発電設備の設計・施工を手掛けるとともに、発電事業にも注力しています。発電事業に関しては、2012年11月の当社「府中総合技術センター」（東京都府中市）での稼働開始を皮切りに、現在はメガソーラー発電施設4カ所（千葉県1カ所、山梨県3カ所）を含む全国6カ所で稼働していますが、今回の事業は中国地方では初の展開となるほか、当社の発電施設では2番目の出力規模になります。

今回の工事概要は以下の通りです。

工 事 名：エクシオ松江ソーラーファーム建設工事
工 事 場 所：島根県松江市朝酌町1194番 他16筆
工 事 期 間：自平成27年4月 ～ 至平成27年10月
発電事業者：株式会社協和エクシオ
設計・施工：株式会社協和エクシオ
株式会社佐藤組
施 設 規 模：・設置用地面積 25,281 m²（実測借用面積）
・太陽光発電設備
太陽光パネル出力 約2,200.56 kW
太陽光パネル枚数 8,304 枚
年間発電量（見込み） 約2,241,800 kWh／年
投 資 金 額：約6億円



工事安全祈願祭の様子

本資料に関する報道機関からのお問い合わせ先

株式会社 協和エクシオ

〒150 - 0002 東京都渋谷区渋谷 3 - 29 - 20 総務部 CSR・広報室

電話：03 - 5778 - 1075（直） FAX：03-5778-1228

担当：高柳 圭伸